

2019年度 安全報告書



(旧) 株式会社東海バスオレンジシャトル
(現) 株式会社東海バス沼津営業所

2019年度の取り組み状況

《2019年度 輸送の安全に関する目標と達成状況》

目標	2019年度発生件数	2018年度発生件数
横断歩道周辺における人身事故ゼロを達成	0 (達成)	0
駐車場、車庫、ロータリーでの有責事故を対前年30%以上削減	10 (未達)	13
飲酒運転の撲滅	0 (達成)	0

1. 事故の発生状況

- (1) 法令で定める自動車事故報告規則第2条に該当する事故 2件(1件)
 ※ () 内は車両故障の事故報告件数
- (2) その他の車内事故 1件
- (3) その他の接触事故 27件

2. 教育の実施状況

年間教育計画に基づき以下の研修を実施いたしました。

- (1) 総括運行主任研修 (2回 対象者 1名受講)
 安全かつ確実な輸送を実現するため外部講師による管理、指導力等の運行管理業務のスキルアップを目的とした研修を実施いたしました。
- (2) 運行主任研修 (2回 対象者 4名受講)
 安全かつ確実な輸送を実現するため、運行管理業務に関する研修を運行主任に対し実施いたしました。



《総括運行主任研修》



《運行主任研修》

- (3) 運転士指導者研修 (1回 対象者 4名参加)
 運転士指導者の指導スキルアップを実現するため、運行主任を対象に小田原ドライビングスクールにおいて指導者研修を受講させました。

- (4) 運行管理補助者研修 (2回 対象者2名受講)
安全かつ確実な輸送を実現するため、運行管理業務に関する研修を運行管理補助者に対し実施いたしました。
- (5) 主任運転士研修 (1回 対象者5名受講)
運転士の指導的な立場にある主任運転士を対象に、運行主任の補佐業務、運転士全体の資質の向上、事故防止について運転士指導者としてのスキルアップを図るため、小田原ドライビングスクールにおいて指導者研修を受講させました。
- (6) 初任運転士研修 (4回 対象者6名受講)
旅客自動車運送事業運輸規則に基づき、新たに採用された者がプロドライバーとしての自覚、事故の未然防止について研修を実施いたしました。



《主任運転士 小田原ドライビング
スクールでの指導者研修》



《初任運転士研修》

- (7) 初任運転士外部講習 (4回 対象者6名受講)
運転技術を向上させるため、新たに運転免許取得支援制度により採用された運転士や経験不足の運転士を対象に外部自動車教習所での技能講習を受講させました。
- (8) 貸切運転士研修 (1回 対象者18名受講)
安全かつ確実な貸切輸送を実現するため、外部講師によるASV(先進安全装置)の講習と事故事例の映像を活用した安全運転研修を貸切運転士等に対し実施いたしました。
- (9) 安全運転中央研修所研修 (2回 対象者3名受講)
運転上の危険限界の体験と知識を学ぶことでスキルアップし、安全運転の知識、技術向上を図るため、安全運転中央研修所での研修を受講させました。
- (10) 入社3ヶ月研修 (6回 対象者8名受講)
運転技術や接客など運転士としての基本を再認識するため入社3ヶ月の者が、プロドライバーとしての自覚、事故の未然防止について研修を受講いたしました。



《入社3ヶ月研修》



《貸切運転士研修》

- (1 1) 新採用運転士フォローアップ研修 (25回 対象者延べ34名受講)
 運転技術や接客など運転士としての基本を再認識するため半年に1度、入社3年以内の者が、プロドライバーとしての自覚、事故の未然防止について研修を受講いたしました。
- (1 2) 安全運転研修 (10回 対象者19名受講)
 事故惹起者に対し、事故防止の徹底を図るため、事故原因を分析させるとともに安全運転について研修を受講いたしました。



《新採用運転士フォローアップ研修》



《安全運転研修》

- (1 3) 運転士巡回フォローアップ研修 (3回 対象者 7名受講)
 集合教育担当者が、運転業務全般、接客サービスについて添乗指導いたしました。
- (1 4) 高齢運転士研修 (4回 対象者 15名受講)
 安全かつ確実な輸送を実現するため、高齢者向けの健康管理を交えた安全運転研修を60歳以上の運転士が受講いたしました。
- (1 5) 省燃費研修 (2回 対象者 3名受講)
 各自の運転により燃料使用量を測定し、省燃費運転の方法を学びました。



《高齢運転士研修》

3. 安全対策の実践項目

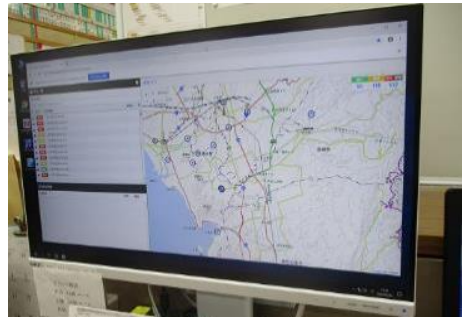
- (1) 統一スローガン・年間取り組み事項の周知徹底
 点呼執行所に掲示し、点呼時に運転士に唱和させることで、確認させ徹底を図りました。

(2) バスロケーションシステムによる運行管理の強化

事業所でパソコンにより運行状況を把握し、交通渋滞時等の運行管理に活用いたしました。



《統一スローガン・年間取り組み事項》



《バスロケーションシステム》

(3) ドライブレコーダーによる運転士指導

法令に従い、事故指導や研修時の安全教育に活用いたしました。また事故発生時の原因分析等に活用いたしました。

(4) 添乗・街頭指導の実施

添乗指導、街頭指導をおこない、年間取り組み事項の実施状況、および安全意識の向上を図りました。



《ドライブレコーダーによる指導の様子》



《三島市内での街頭指導》

(5) 飲酒運転の防止

「飲酒運転防止インストラクター養成講座」を受講しインストラクターの認定を新たに3名が取得いたしました。



《飲酒運転防止インストラクター講座テキスト》

(6) 早朝点検の実施

経営トップが点呼立会いを実施し、点呼執行状況の確認、業務点検を行い、また運転士とのコミュニケーションを図りました。



《厳正な点呼執行の実施》



《日常点検の手順確認》

(7) 乗合バス運転士コンテスト参加

東海自動車㈱が開催した、乗合バス運転士コンテストに運行管理者、主任運転士各1名が参加し、日頃の取り組みの成果を発揮しました。



《コンテストにおける日常点検、運転技術についての審査等の様子》

(8) 防災訓練の実施

9月2日に、災害時の対処について、マニュアルを再確認し、無線機の通信確認、バス車両非常口からの避難訓練や消火器での消火訓練等を実施いたしました。



《消火器訓練》



《車両からの電力確保訓練》

(9) 交通安全教室・バスの乗り方教室の開催

- ① 開催日 2019年5月16日をはじめ19回開催
- ② 対象者 幼稚園児
- ③ 内容 路線バスを使用した交通安全教室を開催

4. 設備投資

(1) 車両の更新

安全性向上と旅客サービスのため新車を導入いたしました。

実績 6両 146,570千円

(2) 車両重整備

安全運行を確保するため、バスの重整備を実施いたしました。

実績 10両 8,797千円

(3) 後付け衝突防止補助システム「モービルアイ」の導入

安全性強化を図るため後付け衝突防止補助システムを導入し搭載しました。

実績 55台 9,350千円



《後付け衝突防止補助システム「モービルアイ」》

5. 安全運動

安全運動を次のとおり行い、輸送の安全性の向上および交通事故防止に努めました。

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 県下安全運転コンクール | 4月 1日から 6月30日 |
| (2) 新入学（園）児を交通事故から守る県民運動 | 4月 4日から 4月10日 |
| (3) 春の全国交通安全運動 | 5月11日から 5月20日 |
| (4) 夏の交通安全県民運動 | 7月11日から 7月20日 |
| (5) 秋の全国交通安全運動 | 9月21日から 9月30日 |
| (6) 年末の交通安全県民運動 | 12月15日から12月31日 |
| (7) 年末年始安全総点検運動および早朝点検 | 12月10日から 1月10日 |
| (8) 乗合バス運転士コンテスト | 12月 9日 |
| (9) 横断歩道事故撲滅の日 | 3月15日 |

6. 安全に関する会議体

2019年度安全マネジメント委員会を下記の通り開催し、協議検討を行いました。

- (1) 第1回 2019年8月31日
 - ① 事故事例とその防止について
 - ② 安全マネジメント安全目標の達成状況について
- (2) 第2回 2020年1月16日
 - ① 事故事例とその防止について
 - ② 安全マネジメントレビューについて
- (3) 第3回 2020年2月19日
 - ① 事故事例とその防止について
 - ② 2020年度の安全目標について

7. 内部監査

- (1) 当社の内部監査は東海バスグループ各社間による相互監査として2019年9月3日に東海自動車(株)バス計画部および(株)新東海バスの監査員による監査を受けました。
- (2) 2019年9月に実施された内部監査における指摘事項の改善状況について2020年2月4日に東海自動車(株)バス計画部の監査員によるフォローアップ監査を受けました。

以 上